

確かな未来・子どもたちのために



# 上野 ひでかず

## 県政報告レポート

第22号 2018年4月16日  
発行 兵庫県議会議員 上野ひでかず (辻川) 事務所  
神崎郡福崎町西田原 1212 番地 4 2F

TEL/FAX 0790 - 22 - 6805  
E-mail kanzaki.gun@gmail.com  
ホームページ <http://www.kanzaki-gun.org>

### ◆第339回兵庫県(2・3月)議会

第339回定例兵庫県議会は、平成30年2月16日から3月23日までの36日間にわたり開催され、またその間の3月5日から3月19日まで予算特別委員会が設置され、私は予算特別委員として8部局に対して質問を行いました。また、議員定数等調査特別委員会にも所属をして議論を行ってきました。次回より養父市選挙区と朝来市選挙区が合区され1名減(総定数86人)となりました。



議案は平成30年度関係として、兵庫県一般関係予算(1兆8,880億50百万円)をはじめとする予算関係23議案(総額2兆139億63百万円)、主要農産物種子生産条例・ユニバーサル社会づくり推進に関する条例をはじめとする条例関係26議案、最終2ヵ年行財政構造改革推進方策の変更・公の施設の指定管理者指定等その他案件35議案、副知事の選任をはじめとする人事同意案件3件が、提案・可決されました。

平成29年度関係として、兵庫県一般関係補正予算をはじめとする補正予算関係29議案、県有施設等整備基金条例・地域創生基金条例・住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例をはじめとする条例関係8議案、ひょうご子ども子育て未来プランの改訂をはじめとするその他関係8議案が、提案・可決しました。

議員提出議案として、議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例(議員報酬削減)・障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通の手段に関する条例・兵庫県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例が、提案・可決されました。

請願「家庭教育支援法の制定を求める意見書提出の件」1件が採択、「消費税10%中止を求める意見書提出の件」をはじめ4件が不採択となりました。意見書については、「障害者の移動支援や意思疎通の支援等を求める意見書」、「子どもの医療費等の負担軽減に関する意見書」、「労働契約法に基づく無期転換ルールに関する意見書」等8件が提出となりました。

### ◆予算特別委員会質問項目 …質問、答弁はホームページに掲載します。

3月5日 平成30年度財政状況について

1. 将来負担比率改善に向けた取組について
2. 県税収入について
  - (1) 平成29年度の県税収入見込みについて
  - (2) 平成30年度の県税収入見込みについて
3. 森林環境税(仮称)の創設について



### 3月7日 健康福祉部

1. 介護サービスの充実・強化について
  - (1) 介護保険施設の整備状況について
  - (2) 介護人材の確保について
2. 無届有料老人ホームについて

### 3月7日 病院局

1. 中・西播磨圏域における1・2次、3次救急医療体制の連携強化について
2. 県立大学および独協学園の教育・研究部門の整備状況について

### 3月8日 産業労働部

1. ひょうごのツーリズムの推進について
  - (1) 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の活用について
  - (2) プロモーション活動について

### 3月9日 農政環境部

1. 担い手の現状について
2. 農業経営隊の法人化について
3. 農地中間管理機構による担い手への農地の集積・確保について

### 3月12日 県土整備部

1. 播但連絡道路南進部における有料道路事業導入について
2. 道路整備の考え方について

### 3月12日 企業庁

1. 地域整備事業における分譲推進について
2. 企業庁における今後の経営・事業展開について

### 3月13日 教育委員会

1. 特別支援教育推進のための市町支援について
2. 政治的教育を高める教育の推進について

※無届老人ホームについては、空き家などを活用して安価で良質の介護サービスが提供されるのならば規制緩和するべきだと主旨から質問しました。

道路整備の考え方については、福崎町西谷地区の歩道整備を念頭に、考え方は考え方として認めるが、前後の区間との均衡はとるべきだと趣旨で質問をしました。

## ◆特質すべき議論・新年度予算

### ●県庁周辺再開発問題

加田議員の代表質問、向山議員の一般質問で、県庁周辺再整備ビックプロジェクトがありました。向山議員は知事の年頭あいさつ、詩の中で「兵庫県 150 周年生まれり 当時の志 未来に継がん」、その詩の披露の後に、「これまでは安定を重視して慎重な県政を進めてきたが、これからは少々リスクを冒しても新たなことに挑戦したい。」とその心境をこう表現されたと質しました。

それに対して知事は、県庁周辺の再整備にあたっては、規模の大きい本庁舎1号館、これは延べ床面積が約 31,000㎡ある、2号館、約 16,000㎡ある、この二つの取り扱いが最大の課題になる。震災後の耐震補強から 20 年以上が経過し、現在も必要な耐震度、IS 値 0.6 を維持しているのか、補強箇所は劣化していないか、防災拠点に必要な耐震度、IS 値 0.9 とするには耐震壁をどの程度追加する必要があるか、などを確認する必要がある。このため、一番基本となる物理的限界を確認するため、来年度、1号館について、南海トラフ地震等を想定したシミュレーションによる耐震診断を実施することにした。

ご指摘のように、県庁周辺の再開発には多額の事業費が必要である。しかし、現行制度では、県庁舎を整備する特別の財源はなく、交付税措置のない起債しか起こせない。このため、全てを県が主体として整備するのではなく、ご指摘のように豊島区が区役所の移転整備にあたり、

民間活力を導入し、定期借地料を確保するとともに、区役所とマンションを合築して、市街地再開発事業を導入し、国庫補助金を活用したような特別な対策が不可欠である。このように私も考えている。

## ●県政 150 周年記念事業

これまでの 150 年の歩み、現在の「ひょうご」を見据えて、明日の兵庫・「未来への扉を開く」県政を推進、新しい兵庫づくりに転換する必要がある。

### 1. 記念式典の開催

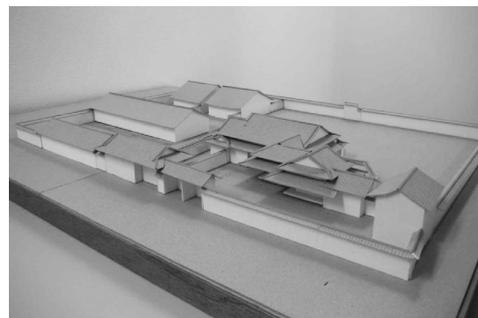
日時：7月12日（木）13：30～16：30  
会場：神戸国際会館大ホール

### 2. 記念事業の全県展開

- ①県民連携事業・・・県民の創意あふれる取組を支援（H.30.2 末現在 236 件）
- ②なんでも 150
  - ・景観ビューポイント 150 選、橋梁・トンネル名選 150 選
  - ・その他、県ゆかりの人、名所、祭り等の県民投票
- ③姉妹・友好州省サミット・・・世界 20 地域の代表者を招き、関係を強化
- ④県史編纂
  - ・「兵庫百年史」継ぐ県史（2021 年刊行予定）

### 3. 記念施設の整備検討

- ①初代県庁舎の復元・・・県政資料館機能の整備も検討
- ②神戸ビーフ館の整備・・・但馬牛、神戸ビーフの情報発信拠点
- ③スイーツ博物館の整備検討
- ④県立大学国際学科学生寮の整備・・・学科再編に合わせた国際交流拠点
- ⑤県立公園のリニューアル・・・30 年度は明石公園、甲山森林公園
- ⑥県庁周辺整備の検討・・・まず本庁 1 号館の耐震診断を実施



## ●地域創生の展開

### 1. 地域創生戦略の改定

- ・元気な高齢者を増やす「健康長寿社会づくり」も人口自然増対策に位置付け
- ・目標：健康寿命の男女とも 1 歳延伸

### 2. ひょうご地域創生交付金の創設（県単独事業）

- ・県と市町が連携して地域創生に取り組み、地域活性化を支援
- ・事業費：40 億円（県費：20 億円）・・・国交付金活用が優先、国不採択事業に活用

区分	申請	負担割合	
	上限額	県	市町
政令・中核市	2.5 億円	1 / 3	2 / 3
上記以外の市	1.5 億円	1 / 2	1 / 2
町	0.5 億円		

### 3. 地方創生拠点整備交付金（国）の活用

- ・ニュースバル放射光施設新入射器整備、放射光次世代金属材料開発拠点整備等



## ●子育て環境の整備

1. 出会い・結婚支援（出会いサポートセンター）
  - ・県内 10 地域 + 出会い、結婚の場を提供
  - ・はばタン会員：5,102 人（H.30 年 1 月末現在）
  - ・成婚数：1,413 組（H.30 年 1 月末現在）
2. 待機児童対策
  - ・認定こども園の増設・・・保育所と幼稚園の機能を持つ認定こども園への移行を促進（H.29.4）400 園→（H.30.4）450 園
  - ・保育の量の拡大・・・賃貸物件による保育所整備を継続支援  
保育所用地取得にかかる利子助成を創設
3. 保育料軽減制度の拡充
  - ・保育料軽減補助を一律 1,000 円 / 月増額

区分		第 2 子	第 3 子以降	
県補助	年収	640 万円相当未満		
	補助額	3 歳児以上	3,500 円→ 4,500 円	4,500 円→ 5,500 円
		3 歳児未満	5,000 円→ 6,000 円	6,000 円→ 7,000 円
国制度	年収	360 万円相当未満		
	保護者負担	1/2 負担	無償	



- ※県補助額は 5 千円 / 月を超える保育料に対する上限額、福崎町は県基準、市川町は所得制限が〇〇万円未満、神河町は所得制限なし
- ・開設時間延長施設支援・・・18～21 時まで延長する保育所を支援、19 時 30 分まで延長する放課後児童クラブを支援

## ●医療・介護の充実

1. 介護体制の充実
  - ・定期巡回・随時対応サービスへの参入促進  
…2025 年目標、現在 44 事業所→300 事業所、人件費に加え事業所の整備費、賃料を助成
  - ・介護施設の整備促進…特別養護老人ホーム 932 床（H.30 年度）
2. 医療体制の強化
  - ・保健医療計画の改定（老人福祉計画と同時改訂）…二次保健医療圏域の再編、準圏域の設定
  - ・病床転換の推進

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
2016 年	6,100	26,300	6,200	13,900	52,500
2025 年	5,900	18,200	16,500	11,800	52,400
差引	200	8,100	-10,300	2,100	100

3. 訪問診療の充実
  - (1) 在宅医療ネットワークの整備
    - ・地域の在宅看取りネットワークも構築
  - (2) 在宅看護体制の強化
    - ・24 時間対応訪問看護ステーションの増設
4. 県立病院の整備促進
  - ①丹波医療センター（仮称）  
2019 年開設予定【320 床】



- ②はりま姫路総合医療センター(仮称)  
2022年度開設に向け設計を実施【736床】
- ③西宮病院と市立西宮病院の統合再編方針検討
- ④がんセンターのあり方検討

## ●健康づくりの推進

### 1. 健康づくり支援システムの開発

…特定健診データや医療費データを収集・分析し、健康づくりを支援

①システム開発 ②個人向けWEBページ作成…運用開始:H.31年度

区分	対象者	補助額
がん検診	健康づくりチャレンジ企業 の従業員・被扶養者	2,000円
歯科検診		2,000円

### 2. 中小企業における健康づくり支援

(1) 検診受診支援

(2) 中小企業従業員共済事業支援

・共同福利厚生事業「ファミリーパック」の人間ドック補助等を支援

区分	対象者	補助額
インフルエンザ予防接種	中小企業共済の会員・配偶者	2,000円
人間ドック・脳ドック	同上(35歳以上)	10,000円

### 3. 認知症予防・早期発見

※本県における認知症高齢者推計

区分	2015年	2020年	2025年
認知症高齢者数	約23万人	約27～29万人	約30～33万人

(1) 予防・早期発見の推進

・特定健診・後期高齢者検診時にチェックシートを活用した  
認知症予防検診の実施を支援(補助率1/2)

・チェックシート普及研修

(2) 認知症医療連携体制の強化

- ・I群(身近な医療機関)計247箇所  
⇕相互連携
- ・II群(専門医療機関)計48箇所  
⇕相互連携
- ・認知症疾患医療センター(14→18箇所)

・圏域内会議、医療機関研修などを実施

### 4. 生涯スポーツの振興…ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けた取組

・女性スポーツの会の創設支援

・スポーツクラブ21の活性化支援



## ●安全安心の地域づくり

1. ユニバーサル社会づくり推進条例の制定
  - ・みんなの声かけ運動の展開
  - ・手話、身体障害者補助犬の普及
2. 公共バリアフリー化の促進
  - ・鉄道駅舎エレベーターの設置促進…平均乗降客3千人以上の駅
  - ・鉄道駅舎ホームドア設置促進…平均乗降客10万人以上の駅
  - ・障害者スポーツ拠点の整備検討…総合リハビリテーションセンター



## ●心の安全安心の推進

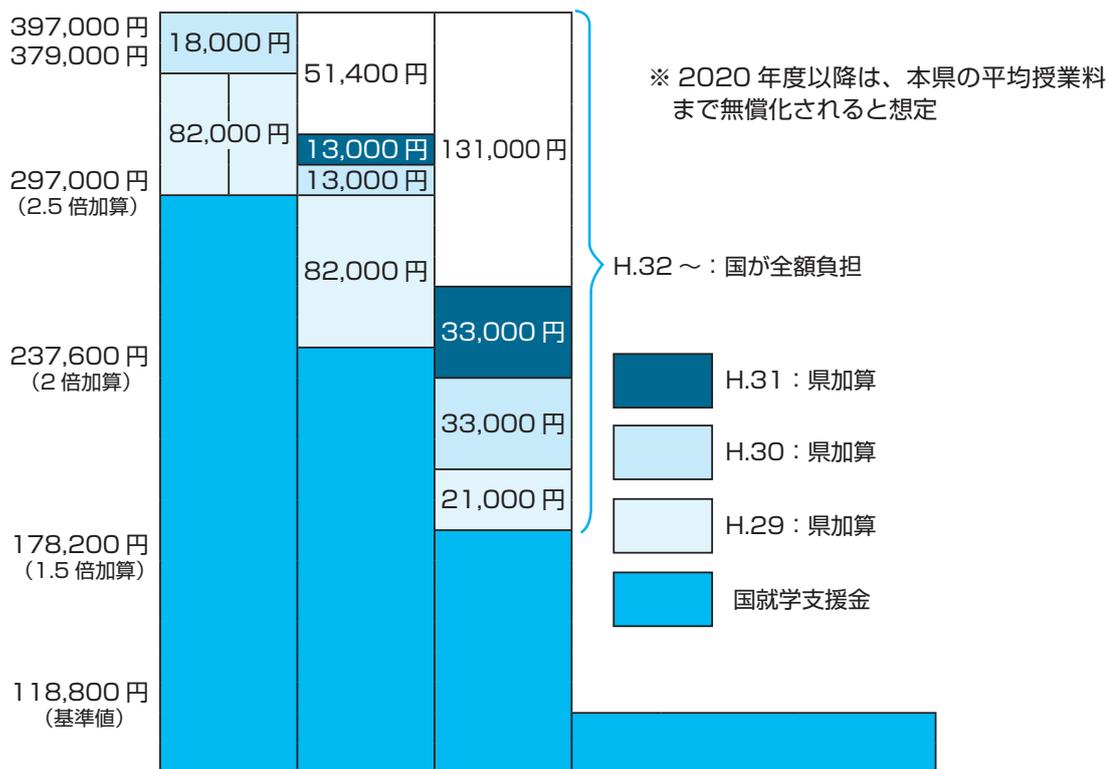
1. 心の悩み相談体制の強化
  - ・24時間電話相談の相談回線の増強
  - ・LINEを活用した相談体制を試験的に整備(8月下旬～11月下旬:毎日17～21時)

## ●青少年愛護条例に基づく取り組みの推進

- ・スマートフォン購入時のフィルタリング義務付け
- ・児童ポルノ自画取り勧誘の禁止
- ・JKビジネスの規制

## ●次世代を担う人づくり

1. 義務教育の充実
  - ・「がんばりタイム」の推進…放課後の補充時間の拡充
  - ・小学校英語教育支援の充実…英語が堪能な地域人材の活用
2. 県立高校の充実
  - ・特色化の推進…武庫荘総合高校「福祉探究化」開設
  - ・小規模校への遠隔授業の実施…千種高校、和田山高校で実施研究
3. 県立大学の魅力向上
  - ・経済、経営学部を社会情報科学部、国際商学部(いずれも仮称)に再編
  - ・新教育研究棟、国際学生寮を整備
4. 専門職大学構想の推進
  - ・【但馬】観光・文化をテーマに開設準備(2020年度開設目標)
  - ・【淡路】食をテーマに開設検討
5. 私立高校授業料軽減の充実
  - ・2020年度までに実施される授業料無償化までの間、県独自の段階的な軽減措置を実施
  - ・平均授業料の上昇に伴う補助上限の引上げ(379千円→397千円)



## ●元気な地域づくり

### 1. 移住・定住の促進

- ・カムバックセンターのワンストップ窓口
- ・東京、大阪からのお試し移住ツアーを実施

カムバックセンター利用状況(累計) H.30.2月末

神戸 相談者数: 2,073人、移住者数: 5人

東京 相談者数: 2,763人、移住者数: 35人

### 2. 「ひょうごで働こう! プロジェクト」の展開

#### (1) 中小企業就業者確保支援

- ・従業員の奨学金返済負担軽減制度を設ける県内中小企業を支援  
(返済金額18万円を本人・企業・県で負担 支援期間5年 支援実績53社、157名 H.30.2月末時点)

区分	企業の住所		補助率(負担割合)
	政令・中核市	その他	
従業員の住所	政令・中核市	○	○: 1/3 (県1/9、市町2/9) ●: 1/3 (県1/3)
	その他	●	

#### (2) 第2新卒者県内企業就職促進(新卒者の約3割が入社3年以内に離職)

- ・第2新卒者を積極的に受け入れる企業の情報を支援  
(ひょうご・しごと情報広場のホームページをリニューアル)
- ・県内苦行情報発信、セミナーの開催

#### (3) 企業魅力アップ・定着支援

- ・採用力強化に取り組む中小企業を支援
- ・対象地域を拡大(政令・中核市、阪神南地域を除く地域)
- ・企業が負担する新規学卒者、UIJターン就職希望者の面接旅費、転居費用を助成

助成対象	補助上限
面接旅費	旅費 90千円、宿泊費 10千円
転居費用	単身者 100千円、家族同伴者 100千円

#### (4) 高校生・大学生「兵庫就活」促進…企業ガイドブックの配布、WEBでも発信

#### (5) 県内大学と連携した就活支援…大学による企業説明会、見学会の開催支援

## ●産業の活性化

### 1. 次世代産業の育成

- ・重点分野にAI・IOTを追加、NIROに専門人材を配置し、AI・IOTの活用に取り組む企業を支援
- ・Spring-8等を生かして新材料開発を進めるため、産官学による放射光利用の推進体制を整備

### 2. 企業支援の強化「若手企業支援」を創設

区分	起業経費（千円）		空き家活用上乗せ補助（補助上限）
	対象経費	補助上限	
女性起業	①事業所開設費	1,000	1,000
シニア起業	②備品③広告費	1,000	1,000
若手起業	①②③	1,000	1,000
ふるさと起業	①②③+移住経費	2,000	1,000
クリエイティブ企業	①②③+研究費	2,000	1,000



### 3. IT事業所の集積促進

- ・IT事業所の開設促進（対象地域を拡大：政令市・中核市、阪神南を除く全地域）
- ・高度IT事業所開設支援事業（拠点地区・谷上駅前への集積を促進）
- ・ITカリスマ誘致事業（国内外で活躍するIT企業家を誘致）

対象経費	補助率	補助上限額		
		IT事業所	高度IT事業所	ITカリスマ誘致
賃借料（3年間）	1/2 以内	600 千円 / 年	900 千円 / 年	
通信回線使用料（3年間）		600 千円 / 年		
人件費（3年間）	定額	1,000 千円 / 年人	2,000 千円 / 年人	10,000 千円 / 年人
建物改修費（1回）	1/2 以内	1,500 千円	500 千円	
		空き家活用が前提	空き家加算あり +1,000 千円	
事務機器取得費（1回）		500 千円		
助成総額（3年間）		8,000 千円	11,500 千円	35,000 千円
助成総額（3年間） 空き家加算あり			12,500 千円	36,500 千円

※農政環境部、県土整備部関係については、神崎郡内の箇所付けができた段階で次回号に掲載します。

### 皆さまの県政に対するご意見をお聞かせください。

たくさんのご意見をお待ちしています。事務所へもお気軽にお立ち寄りください。

#### 《連絡先》 上野ひでかず事務所

〒679-2204 神崎郡福崎町西田原 1212 番地 4 2 F

TEL/FAX (0790) 22 - 6805 E-mail/kanzaki.gun @ gmail.com